

後輩へのアドバイス ～1・2年合同「総合的な学習の時間」～

3年生の代表生徒10名が、「総合的な学習の時間」を使って1年生・2年生に「後輩へのアドバイス」を行いました。

1、2年生全員を前にして壇上から発表した3年生の生徒たちは、緊張しながらもしっかりと自分の言葉でアドバイスを伝えていました。その様子を見て、3年生担当の教員はもとより、2年生・1年生担当の教員も、卒業を控えた3年生の成長した姿に感心しました。大学、短大、専門学校、就職と、それぞれの進路が決定した3年生の代表生徒は、学校生活や進路選択において心がけることなどを具体的に発表しました。

1・2年生は、身近な先輩から話を聞くことで自分にあてはめながらアドバイスを聞いたことと思います。また、発表した3年生は、考えをまとめることで3年間の高校生活を振り返り、卒業後の進路に向けて決意を新たにすることができたと思います。貴重な学習の機会となりました。

(校長 高橋信之)

(3年生のアドバイスから抜粋)

- ・人前で話すことが苦手だったが、生徒会長になって人前に出ることが多くなり自信がついた。いろいろなことにチャレンジして自分に自信をつけてください。
- ・3年生の夏休みはあっという間に時間が過ぎる。面接練習をしっかりとっておくべき。
- ・1、2年生にがんばってほしいことは欠席や遅刻をしないこと。資格はできるだけ多く取ったほうが良い。今、ビジネス文書1級を取るための勉強をしている。
- ・自分の好きなことを書き出して自己分析をした。自分が絶対譲れないポイントを考えながら進路を決めた。みなさんも好きなこと、やりたいことを見つけてほしい。
- ・検定取得とボランティア活動に進んで挑戦した。みなさんも失敗を恐れずにいろんなことに立ち向かってください。
- ・高校入学後、進学するという目標はあったが具体的には決めていなかった。ボランティア活動に参加したり、テスト勉強をがんばった。英語のスピーチコンテストにも出場した。その結果願書に書けることがたくさんありとても役立った。3年生になるまでにたくさんの活動に積極的に参加することが重要。
- ・面接練習は何回もしたほうが良い。本番は自信を持って受けられる。
- ・放課後は学校に残って面接練習、帰宅後や休日には小論文の過去問の練習をした。練習を繰り返すうちに、準備していなかった質問に答えることができたり、小論文では時間内に書けるようになった。
- ・毎日の授業をしっかりと受けること。
- ・授業だけでなく先生との会話や講演などをよく聞き、内容を理解すること。
- ・目標がないまま3年生になった。もっと早く目標を決めればよかった。好きなものをとことん追求して自分のものにしてください。
- ・自分を知ること。そのためにもいろいろなことに挑戦して様々な経験をすること。自分のことは自分で決めること。自分から進んで行動すること。
- ・計画を立てること。時間を逆算して考えると分かりやすい。